

防長百山に寄せて

旅に出て、土産物を買って帰る習慣は全くないが、その地方で出版された本を見附けると、自分の仕事に直接の関係はないような本でも買ってしまふ。それがその地方の案内を兼ねた紀行であったりすると、宿の夕食の後に読み出して、予定を変更したり、滞在を延期したことも幾度かあった。

安倍正道さんがマツノ書店の防長紀行シリーズの一冊として出版されるこの『防長百山』は、まさにこうした種類の一冊で、若し私がこれを防長の旅先で見附けたら、どんなことになるうか。

私はこの著者の安倍正道さんにも、発行者の松村久さんにもお目に掛ったことはない。間接にこの出版の話を知った時から、自分のことのように嬉しく、おふたりからそれぞれ懇ろなお手紙を頂戴してからは、出来る日を待遠しく思うようになって来た。

安倍さんは生まれは東京であるが、山口県に移り住まわれて既に二十数年、百山を書かれるのに適しく、県内の山々を、まめに、丹念に歩かれた。アンチ中央主義で、北アルプスにも南アルプスにも足を向けられなかったという。「生来の偏屈者」というお言葉が戴いたお手紙にあったが、私はそれが本当だという気がする。

最近、自分の故郷の山を知らず、日本のどの山にも殆ど登らずに、ヒマラヤへ出掛ける人が多いそうであるが、そういう時代の中で、身の山を何処の山よりも愛して、根気よく登り、楽しさをそこに見出しておられる安倍さんの山に対する態度は、偏屈どころか立派だと思う。そして、そういう本の出版に情熱を傾けておられる松村さんにも敬意を表したい。

串田 孫一

目次

■ 防長百山に寄せて 串田孫一

■ はじめに

周防の部

玖北地域

1	寂地山	……	三
2	右谷山 容谷山	……	四
3	小五郎山	……	六
4	羅漢山 法華山	……	六
5	鬼ヶ城山	……	一〇
6	大将陣	……	三
7	城将山	……	四
8	平家ヶ岳	……	六

9	水ノ尾山	……	六
10	成君寺山	……	一〇
11	根笠山	……	三
12	白滝山	……	四
	玖南地域		
13	弥山 岩国山	……	六
14	城山	……	四〇
15	物見ヶ岳	……	四二
16	蓮華山 鞍掛山	……	四四
17	氷室岳	……	四六
18	高照寺山	……	四八
19	銭壺山 大將軍山	……	五〇
20	琴石山 三ヶ岳	……	五三
	大島地域		
21	嘉納山 源明山	……	五六
22	文珠山	……	五八
23	嵩山	……	六〇

24 白木山 大見山……………三

熊毛地域

25 千坊山 大峰山……………六

26 烏帽子岳……………六

27 石城山……………七〇

28 大星山……………七三

29 皇座山……………七四

都濃地域

30 茶白山 烏帽子岳……………七六

31 四熊岳……………八〇

32 嶽山 若山……………八三

33 緑山……………八四

34 金峰山……………八六

35 千石岳……………八八

36 石ヶ岳……………九〇

37 飯ヶ岳……………九三

38 弟見山……………九四

39 筋ヶ岳……………九六

40 高岳……………九六

41 長野山……………一〇〇

42 馬糞ヶ岳……………一〇三

佐波地域

43 日暮ヶ岳……………一〇六

44 白石山 狗留孫山……………一〇八

45 真田ヶ岳……………一一〇

46 右田ヶ岳……………一一三

47 矢筈ヶ岳……………一二四

48 大平山……………一二六

吉敷地域

49 大海山……………一二〇

50 火の山 陶ヶ岳……………一二三

51 禅定寺山……………一二四

52 鴻ノ峰……………一二六

53 東方便山 西方便山……………一二六

長門の部

厚狭地域

54 日の山……………一三三

55 霜降岳……………一三四

56 竜王山……………一三六

57 荒滝山 日の岳……………一三六

58 松岳山……………一四〇

美祢地域

59 江嶺山……………一四四

60 矢櫃山……………一四六

61 鯨ヶ岳……………一四八

62 桂木山……………一五〇

63 如意岳……………一五二

64 花尾山……………一五四

65 竜護峰……………一五五

66 雁飛山……………一五九

67 桜山……………一六〇

豊浦地域

68 四王司山 勝山……………一六四

69 竜王山……………一六六

70 鬼ヶ城 狩音山……………一六六

71 華山……………一七〇

72 狗留孫山……………一七三

73 天井ヶ岳 白滝山……………一七四

74 一位ヶ岳……………一七六

75 堂ヶ岳……………一七六

大津地域

76 千畳敷 雨乞山……………一八三

77 高山……………一八四

78 権現山……………一八六

阿西地域

79 日尾山……………一九〇

80 田床山……………一九三

96	野道山	……	二二六
95	大蔵岳	……	二二四
94	黒獅子山	……	二二三
93	高羽ヶ岳	物見ヶ岳	……
92	大将山	……	二二八
91	西台	権現山	……
90	権現山	……	二二四
89	伊良尾山	……	二二三
88	神宮山	……	二二〇
87	高山	……	二〇八
86	犬鳴山	……	二〇六
阿東地域			
85	竜門岳	……	二〇三
84	ダツヤ山	……	二〇〇
83	男岳	……	一九八
82	天越山	……	一九六
81	碁盤ヶ岳	……	一九四

97	三ツヶ峰	……	二二八
98	高岳山	……	二二〇
99	法師山	……	二二三
100	十種ヶ峰	……	二二四

■	山口県の山（山名一覽）	……	二二六
■	あとがき	……	二二八

●写真 安倍正道

●地図 齊藤恒郎

●装画

ササユリ 宮崎恭子

石城山遠望 香月泰男

（朝日新聞「新・人国記山口県編」所載）

県立山口博物館蔵

本書の一部は抜粋して「朝日新聞山口県版」に、昭和51年3月より52年3月まで、毎週一回連載されました。

はじめに

私は単なる山登り愛好者です。それもアルプスとか岩とか大それた山ではなく、もっぱら県内のあちこちの山への日帰りを楽しむハイカーに過ぎません。

なぜ山に行くのか。それは極めて単純で、自然が好きだからです。それ以外の目的はありません。したがって動植物とか地質などには全く素人しろうとですし、山にまつわる歴史、民俗などについてもまるで不案内です。

「それなら山の本など書かなければよい。」と言われれば一言もないのですが、ただ私としては、この二十年間、周防、長門の山々を飽きることもなく歩き続けているうちに、各々の山に対して、それぞれ愛着断ち難いものがありますので、その一端なりとも述べ、一人でも多くの人に防長の山に親しんでもらいたいと思い、身の程もわきまえず、敢えて畏友、マツノ書店主松村久氏の勧めに応じたものです。

大体、山口県にはそれほど高い山はありません。なにげなく眺めれば、何の変哲もない同じような山が、唯だらだらと続いているように見えるでしょう。

しかし実際にくり返し登って肌で感ずることは、どんなに平凡に見える山でも、やはり

それぞれの個性を持っているということです。その山容にしても、尾根や沢の変化にしても、植生にしても、また地元の人達との絡み合いとか、遠い昔から背負っている伝わりごとにしても、その山にしかない特性があるように思われます。

それに対応して、接する人の感じ方も色々とあるはずです。私にも当然好き嫌いが出て来ます。ここではなるべく個人的な好みを排し公正に取り扱うつもりですが、それでも私の肌で知った山である以上、私の主観から自由ではあり得ないはずで、ここに挙げた百山の選択にしても異論は当然あるものと覚悟しております。

県内には、現在までに私が名を知り得た山だけでも八百以上あり、そのうち私が登った山は三百余りです。本書ではその中から、なるべく各市町村にわたるよう選びましたが、県境の中国脊梁^{せきりょう}山地沿いの町村はどうしても比重が高くなりました。これは山そのものの値打に重点を置く以上、仕方のないことと思えます。

はじめに触れましたように浅学菲才、ただの山好きに過ぎない私のことですので誤った点、見過した点も多々あると思えます。御指摘頂ければ幸いです。

安倍正道

52

鴻ノ峰



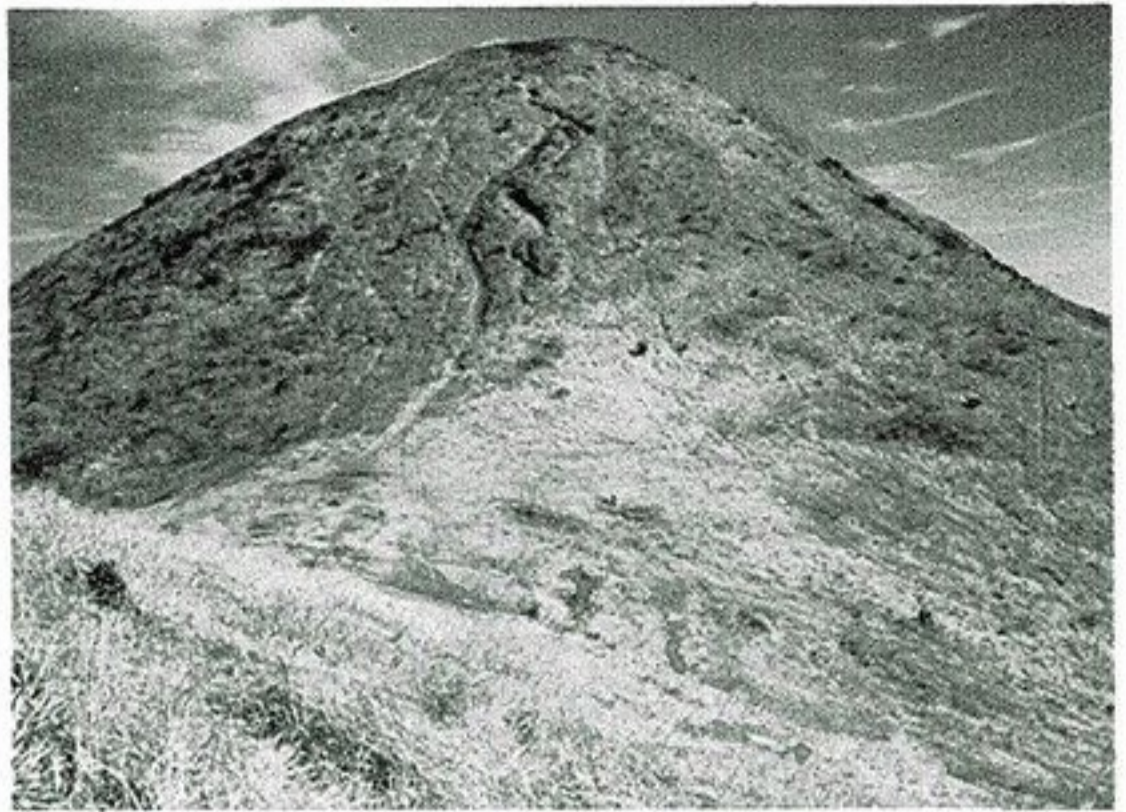
峻な山上に築かれながら、高嶺城は戦城でも居城でもない虚城に終わってしまったともいえよう。

今では八合目あたりまで車道がつき、ドライブコースにもなっているが、歩いて登るなら、県庁裏手の山口大神宮の境内から、お稻荷さまの赤い鳥居の並ぶ急な道が面白い。八合目で車道と合流し、テレビ塔の横を抜けると、あとは遊歩道となり、ほどなく城址の説明板を囲んだ平らな山頂に出る。

山頂は樹林に囲まれていて、展望は必ずしもよくないが、それでも北面には東西の方便山が樹間に散見される。また途中の展望台からは眼下に横たわる山口市街を越えて、東面に蕎麦ヶ岳、真田ヶ岳が望まれる。

この山はまた樹相が非常に豊かで、東北の山腹は照葉樹がびっしりと生い茂り、南面は落葉樹、灌木が多くて明るい。そしてその林床にはさまざまな草本類がひしめいていて、それらを探索して歩くだけでもけっこう楽しい。

私が四月に登ったときは、山麓の赤い鳥居の足もとに純白のサツマイナモリが群生しており、「おやおや、とんだ薩長連合か。」と、思わず苦笑したものだ。



東方便山(西縦走路より)

ひがしほうべんざん
東方便山 (七三四m)

山口市 旭村

にしほうべんざん
西方便山 (七四一m)

美東町 山口市 旭村

初めてこの山に登ったとき、「ああなるほど、これなら多くの人に好かれるのも無理はない。」と、即座に了解できた。

残雪がまだ名残りをとどめていたところで、西方便山から踏み跡もない稜線を、何回も迷い、試行錯誤をくりかえしながら漸くにして辿りついたのだが、段々と近づく東方便山の屹立した姿にひきつけられて、時間の経過など忘れていた。

円錐形に屹立するこの草山の山頂は、十種ヶ峰と同じように、どの方角から見ても、それぞれに美しい。防府から、小郡から、仁保から山口の街に近づくとき、西の側に思いもかけず高い感じでキラッと光って見えるのが、この東方便山頂で、市内のほとんどどこからでも見える。山口市の人たちが、この山を郷土のシンボルとして愛着し敬慕するのは、けだし当然だろう。

この山は眺めてももちろん立派だが、登ればさらに楽しい山で、地元の人たちだけではなく全県下のハイカーたちが必ず一度は登り、ま

53

東方便山
西方便山

た一度登った人はさらに登りたくなる山だ。だから休日には必ずいくつかのパーティーが群れ楽しんでいる。

この山が登って楽しいということにはいくつかの要素がある。第一に登るコースの楽しさ。二つ堂からの正面コース、錦鶏の滝から板堂峠をへる東縦走路、中尾から地藏峠を経るススキの原コース、西方便山からの西縦走路と多様なコースを登り下りに組み合わせることができる。第二は山頂の展望の素晴らしさ。完全に三六〇度で、特に西面の秋吉台から男岳、ダツヤ岳など、また北面の十種ヶ峰、弟見山、石ヶ岳などの景観は見飽きない。第三は山頂一帯の草原の広さで、この草原の至るところに春はツツジ、ナルコユリ、フデリンドウ、キンランなど、秋はマツムシソウ、ウメバチソウ、ヤマハハコ、リンドウなどが満開となる。

西方便山は東方便山の人気の陰にかくれて、たまに完全縦走組が寄るぐらいのようだ。車道がつけられ無線塔が建つこの山頂が、ハイカーから敬遠されがちなのも無理はない。しかし、標高でも山塊でもやや上回っているこの山がもしすぐ西隣になかったら、東方便山頂が同じ運命を辿ったかも知れない。西はいわば東の生贄いけにえになったようなもので、この山への敬意を忘れるべきではなからう。



十種ヶ峰（東尾根より）

十種ヶ峰とくさ（九八九m）

阿東町 津和野町

十種ヶ峰が長門随一の名峰であることに異議を唱える人は一人もないだろう。その山容の秀麗さからいえば県下随一といっても差し支えなからう。

十種ヶ峰の特徴は、何ととっても草山の独立峰だということ、これについては古伝に「大昔、御食主命みけつみが十種の神宝を埋められ、以後、万年の間、この山に樹木を生ずべからず」と願いを掛けられた。」といわれる。

たしかに、この山の中腹から上はほとんど樹木はなく、全山チュウゴクザサにおおわれている。県内には他にも、たとえば東方便山や金峰山のように草山があるが、これほど徹底している山はない。

これは、日本海斜面にあつて、水蝕に抗して孤立化された残丘、孤立峰であるため、季節風の影響で樹木の生育が妨げられ、ササ類の風衝草原が形成されたためだといわれる。したがって北方系の植物が多く、フクジュソウ、ミスミソウ、アカモノ、タンナトリカブトなど、

99

法師山



△津和野▽

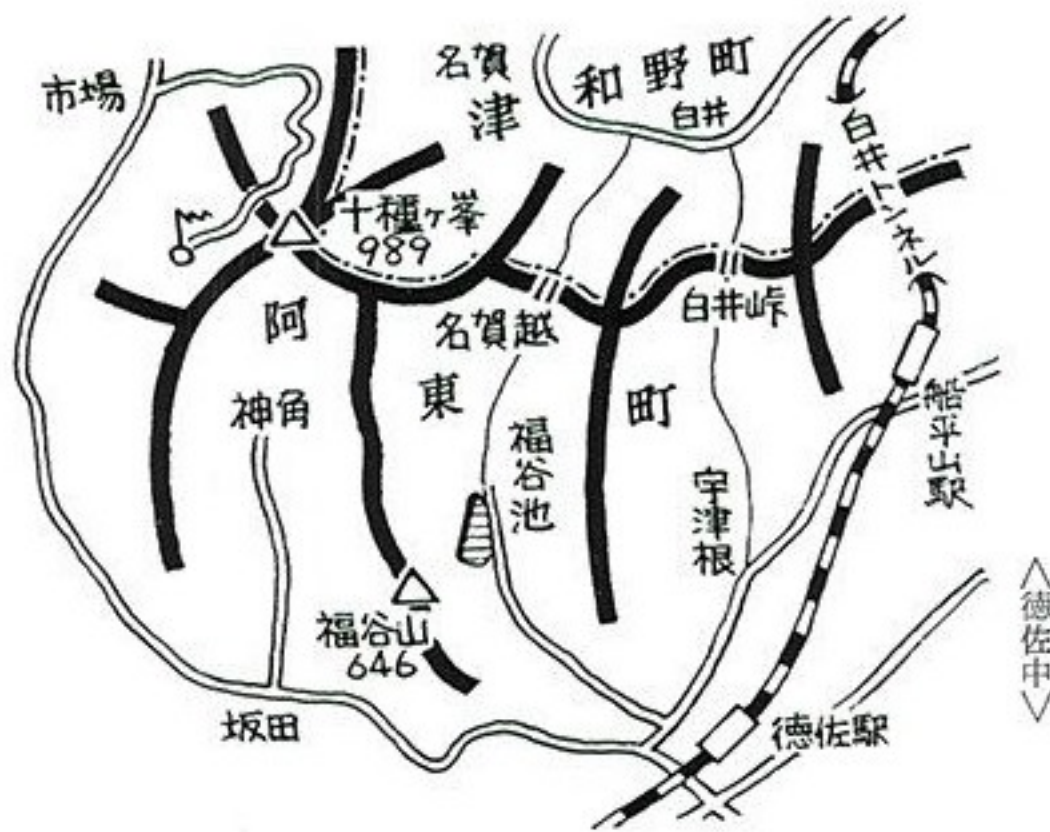
流れていた阿武川が堰きとめられてできた徳佐湖があった頃、舟による交通が盛んだったのだろうか。そういえば、この近くには船平山とか舟戸などの山名、地名もある。

この山は登って楽しい山だ。丘陵性の山で、道は必ずしもはっきりしていないが、船方牧場の牧柵に沿ってのんびり登って行くと、七合目あたりからは見晴らしのよい草原地帯に入り、ところどころにある巨岩に登ると、背面の十種ヶ峰、大蔵岳の姿が楽しい。

草原地帯を突っ切って稜線に出ると、一転して東面の視界が展げ、間近に長々と横たわる鈴の大谷山を越えて、安蔵寺山、寂地山、羅漢山、平家ヶ岳などが一望のもとである。さらに山頂からわずかに北のピークまで足を伸ばすと、津和野の青野山が真正面に大写しで、思わずあっ！と言わされる。このピークは青野山を南から間近に望む、数少ない絶好の展望台だ。

この山から南の高岳山にかけての島根県側は椈谷国有林で、柿木村から東の山腹を縫って九合目まで、営林署の林道が入っている。この道を下るのもよいが、島根県側に下ると、あとの交通の便が厄介だ。それよりは高岳山への尾根をたどり、適当なところから徳佐側に下る方が無難だろう。

100 十種ヶ峰



この山特有の草本が自生している。

独特の風貌をもつ十種ヶ峰は、長門富士とも徳佐マッターホルンともいわれ、県内のどの山からでも一見して識別でき、しかも不整形円錐型の山容は、見る角度によって非常に違った印象をあたえる。

南東の徳佐盆地、南麓の神角（かみつの）から見る姿はすっきりと秀でていて、とくに富士山の大沢崩れのような崩壊襲の鋭く切れ込んだ爪跡が生々しい。またゆるやかな草原をもつ西面からは、ふっくらと柔らかく、浅間山のように大らかだが、東面からは一転して毅然とした稜線が鮮かで、木曾の御岳山のように雄々しい。

冬はスキー場にもなる西麓の市場（いちば）からは車道が八合目ぐらいまでついているが、歩いて登る場合は大抵、南麓の神角部落から入る。神角の名は神津野（かみつぬ）（神の野）から転訛したものとされるが、ここからのコースは西の丘陵状の中腹を回って登るのんびりした道だ。また、東南麓の福谷池を通過して名賀越（ながし）から急峻な東尾根を辿るコースも面白いが、これはむしろ下り道に選んだ方が得策だ。

一等三角点の山頂からの展望はまったく文句なしだ。冬季の快晴の日には伯耆の大山まで見えるそうだが、私は残念ながら、まだその幸運に恵まれていない。

山口県の山・周防部

玖珂地域

Table listing mountains in the Kōko region, including entries like 寂地山, 雨杉山, 寺床山, etc.

Table listing mountains in the Kōko region, including entries like コセンドウ山, 愛宕山, 飯ヶ峰山, etc.

Table listing mountains in the Kōko region, including entries like 由宇町, 天ヶ岳, 大將軍山, etc.

Table listing mountains in the Kōko region, including entries like 蓮華山, 甘木山, 鞍掛山, etc.

Table listing mountains in the Kōko region, including entries like 柳井市, 氷室岳, 矢檜山, etc.

大島地域

Table listing mountains in the Ōshima region, including entries like 大島町, 文珠山, 嘉納山, etc.

Table listing mountains in the Kōko region, including entries like 檜山, 橘町, 源明山, etc.

熊毛地域

Table listing mountains in the Kumamoto region, including entries like 熊毛町, 烏帽子岳, 竜ヶ岳, etc.

Table listing mountains in the Kumamoto region, including entries like 大和町, 石城山, 田布施町, etc.

Table listing mountains in the Kumamoto region, including entries like 平生町, 大星山, 箕山, etc.

Table listing mountains in the Kumamoto region, including entries like 上関町, 皇座山, 上盛山, etc.

Table listing mountains in the Kumamoto region, including entries like 光市, 白石山, 大峰山, etc.

都濃地域

Table listing mountains in the Tsunagi region, including entries like 下松市, 烏帽子岳, 鷺頭山, etc.

Table listing mountains in the Tsunagi region, including entries like 岩熊山, 大岩山, 小陣山, etc.

Table listing mountains in the Tsunagi region, including entries like 新南陽市, 永源山, 千嶽山, etc.

Table listing mountains in the Tsunagi region, including entries like 徳山市, 沖の山, 八合山, etc.

Table listing mountains in the Tsunagi region, including entries like 鹿野町, 弟見山, 筋ヶ岳, etc.

Table listing mountains in the Tsunagi region, including entries like 弟見山, 筋ヶ岳, 小峰山, etc.

Table listing mountains in the Tsunagi region, including entries like 石ヶ岳, 飯ヶ岳, 大平山, etc.

佐波地域

Table listing mountains in the Saha region, including entries like 防府市, 江泊山, 錦山, etc.

Table listing mountains in the Saha region, including entries like 女茶山, 柴北山, 華笠山, etc.

Table listing mountains in the Saha region, including entries like 徳地町, 津々良岳, 牛頭山, etc.

吉敷地域

Table listing mountains in the Yoshiki region, including entries like 山口市, 竜野山, 木戸山, etc.

山口県の山・長門部

阿武地域

Table listing mountains in the Aibu region (阿武地域) with columns for mountain name, elevation, and location details.

Table listing mountains in the Aizu region (阿武地域) with columns for mountain name, elevation, and location details.

Table listing mountains in the Aizu region (阿武地域) with columns for mountain name, elevation, and location details.

Table listing mountains in the Aizu region (阿武地域) with columns for mountain name, elevation, and location details.

Table listing mountains in the Aizu region (阿武地域) with columns for mountain name, elevation, and location details.

Table listing mountains in the Aizu region (阿武地域) with columns for mountain name, elevation, and location details.

豊浦地域

Table listing mountains in the Toyuura region (豊浦地域) with columns for mountain name, elevation, and location details.

大津地域

Table listing mountains in the Otsu region (大津地域) with columns for mountain name, elevation, and location details.

美祿地域

Table listing mountains in the Mikuru region (美祿地域) with columns for mountain name, elevation, and location details.

厚狭地域

Table listing mountains in the Atsuwaka region (厚狭地域) with columns for mountain name, elevation, and location details.